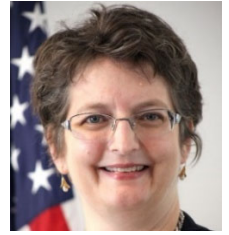


D-①：行政/グローバル

10：00-10：45

講演名：米国政府におけるプレインランゲージ： コンプライアンスとコミュニティ【ビデオ登壇】



スピーカー：Katherine Spivey

米国一般調達局シニアコミュニケーション スペシャリスト

Plain Language Action and Information Network (PLAIN) 共同議長

米国一般調達局の Plain Language Launcher として、同局のプレインランゲージのプログラムをコーディネート。Digital Gov University などの連邦政府機関でプレインランゲージを教えるトレーナーでもある。

Plain International、Clarity、UXDC、PLAIN の年次サミットなどの多くのカンファレンスで講演。バージニア大学で英語の修士号を、メアリー・ワシントン大学で英語の学士号を取得。

講演サマリー：

Plain Language Action and Information Network (PLAIN)は、政府は国民に対し明確なコミュニケーションを行うべきであるという考えに基づいた連邦政府職員のコミュニティです。プレインランゲージを使うことで、政府機関が時間とコストを節約し、よりよいサービスを提供できると確信しています。

10：50-11：50

講演名：信頼、公正、効率 ニュージーランドにおけるプレインランゲージのストーリー



スピーカー：Penny de Borst

Write Limited 1、ブランド&パートナーシップ責任者

ビジネスコミュニケーション、プレインランゲージ コンサルタント

New Zealand Plain Language Awards 創設スポンサー

講演サマリー：

ニュージーランドでは、30 年以上にわたってプレインランゲージ運動が展開されてきました。現在、プレインランゲージは、インクルージョン、司法へのアクセス、民主主義への参加を支援するコミュニケーションツールとして広く受け入れられています。また、企業においても、効率性、顧客満足、ブランドの好感度を高めるために採用されています。

本講演では、同国においてプレインランゲージがどのように使われてきたか、そして、プレインランゲージが政府機関や企業、ひいては社会にもたらす違いについて、感動的なエピソードとエビデンスを紹介します。

また、プレインランゲージ運動の歴史（初期から広く受け入れられるまでの経緯）から、公共機関の文書でのプレイングリッシュの使用を促すプレインランゲージ法案まで、幅広く紹介します。

政府および企業でのプレインランゲージの実例やエビデンスに焦点を当て、プレインランゲージの使用によるインパクトの測定に役立つソースやツールについてもお話しします。

プレインランゲージが業務向上にどのように役立つかについて、学ぶことができます。